

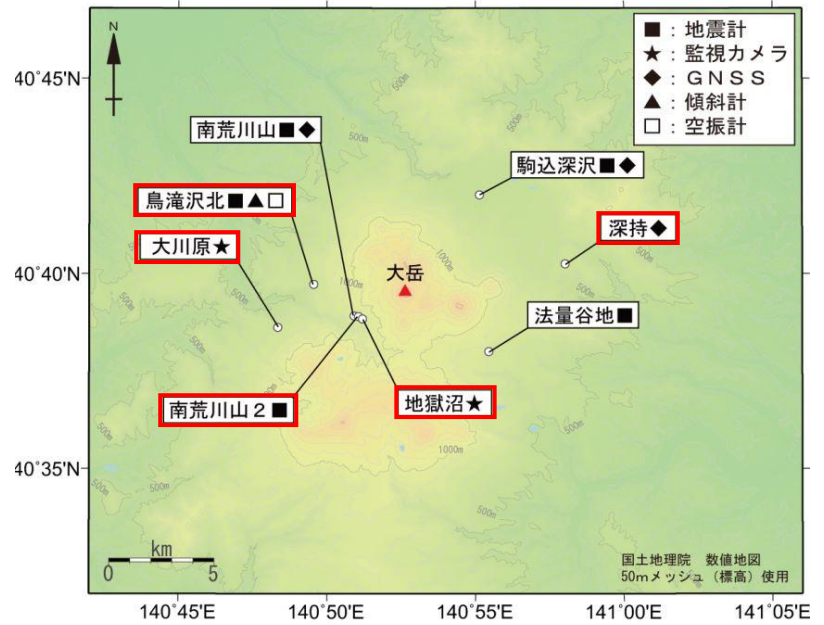
八甲田山の火山観測体制等について

○火山観測機器配置と観測機器の概要



「鳥滝沢北」の画像

地震計・傾斜計・空振計を設置



☐ : 平成 28 年 12 月 1 日 運用開始

<p>地震計： 火山及びその周辺で発生する微小な火山性地震や火山性微動を捉えるもの</p>		<p>監視カメラ： 噴火の発生状況等を監視する</p>	
<p>GNSS： GPS 衛星などの測位衛星から発せられる電波を捉えることにより、観測点間の距離の伸び縮みを高精度かつ簡便に観測する</p>		<p>傾斜計： 火山体内の流体の増圧等によって発生する地盤の僅かな傾きを精密に計測する（地下約 90m に設置）</p>	
<p>空振計： 噴火の発生によって空気中に励起される振動（空気振動）を捉える器械です。夜間や悪天時等、噴煙が目視できない場合でも噴火の発生を着実に捉えることができる</p>			

これらの観測データは、仙台管区気象台地域火山監視・警報センターに送られ、24 時間体制で火山活動を監視している

○八甲田山における最近の火山活動状況

平成 25 年 2 月以降、八甲田山大岳山頂付近等で微小な火山性地震が増加。2 月頃から 10 月頃山体の膨張を示す地殻変動あり。その後、次第に火山活動は低調な状態となった。

現在、火山活動に特段の変化はなく静穏に経過している。

